

研究機関：広島大学

研究課題名	DPP4 阻害薬関連類天疱瘡の実態調査
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科皮膚科学 教授 秀 道広
研究期間	2018年6月4日 ~ 2020年3月31日
対象者	本院皮膚科外来で2016年1月1日から2016年12月31日までに水疱性類天疱瘡と診断されDPP-4阻害薬の内服歴がある患者、同期間でDPP-4阻害薬の内服歴のない水疱性類天疱瘡患者。
意義・目的	自己免疫性水疱症は、表皮接着構造に対する自己抗体によって発症する皮膚や粘膜に水疱を生じる疾患で、水疱性類天疱瘡と天疱瘡が主な病型です。最近糖尿病治療薬のジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害薬(グリプチン製剤)内服中に発症した類天疱瘡の報告が相次いでいます。2011年から2015年までに国内外で20例の文献報告があり、これらの報告に触発され国内皮膚科関連学会でも報告例が急増しています。DPP-4阻害薬関連水疱性類天疱瘡の症例を集積し、病態と治療経過を解析し、DPP-4阻害薬関連水疱性類天疱瘡への対応指針を難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究班で検討するために、全国調査を行います。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、DPP4阻害薬内服の有無、血液検査(抗BP180抗体価)、重症度、治療内容です。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ) 集めた情報は川崎医科大学皮膚科に送付し、川崎医科大学で解析されます
共同研究機関	川崎医科大学 皮膚科
試料・情報の管理責任者	川崎医科大学 教授 青山 裕美
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合は、2018年6月30日までに申し出ください。申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel:082-257-5238 広島大学病院皮膚科 職名 秀 道広